

どうつくる？  
若者に伝わる  
広報誌

# 尚綱大学生との 意見交換

7/10 (金)

今回は尚綱大学で、「社会調査法」の授業を受講している学生の皆さんに議会の録画放送の印象や改善方法について聞いてみました。



議会に対する印象がガラッと変わったので、こういう取り組みを是非もっとやってほしい！



どんどん進んでいくので、質問の要旨や難しい用語の字幕があれば理解がしやすい！



定点カメラでの撮影で、全体的な様子が見えなかったため、台数を増やして、工夫するとより臨場感が出て、見応えも上がると思う！



いきなり議場に行くのは敷居が高いけど、これならリラックスして見れるので、導入には丁度よい！



カメラが遠くて表情が見えなかったため、もう少し顔が見えると、より熱意が伝わって良いと思う！



コロナ禍の緊急対応として、初めて議会の録画内容をオンラインで配信しました。

現在は仮の議場ですが、来年夏頃に供用開始予定の新庁舎の議場では当初よりカメラを設置してオンライン環境を整える計画です。

今回の意見も生かし、より身近で発信力のある議会を目指します！

【その他】

- ・名前のテロップはもっと大きく！
- ・再生回数が2桁だったので、もっと広報が必要！
- ・動画放送はぜひ継続してほしい！

町議会こぼれ話④ 【議員報酬】 通常は月額 24.9万円(期末手当約2.6カ月分)、議長等の役職で若干異なります。(菊陽町 24.9万円、菊池市 33.9万円)

ウィズコロナの  
議会広報！

## 滋賀県 大津市議会との 広報・広聴活動に関するオンライン意見交換会

7/21 (火)

コロナ禍によって、議会の視察や研修も自粛状態にあります。しかし、こうした時期だからこそ、ウィズコロナにおける広報の在り方などを考える意義があります。今回は大津市議会にお声掛けし、テレビ電話でお互いの取り組みについて意見を交わしました。



ICTを活用した先進的な取り組みを行っている大津市議会



当日の様子

### オンライン意見交換会を開催して

議会広報編集特別委員会  
委員長 豊瀬 和久

コロナ禍の新しい研修スタイルとして、熊本日日新聞社の渡辺吉孝取締役をファシリテーター(進行)に迎え、滋賀県大津市議会議会局とテレビ電話による広報広聴に関する意見交換会を開催しました。

コロナ感染予防で傍聴自粛もお願いするなか、新たな広報手段としてオンラインを活用することは不可欠です。

また、オンラインの活用は災害等の非常時に機動力を発揮できる議会や行政であるためには重要な取り組みだと思います。

今回、移動自粛の中で試行的に開催した意見交換会でしたが、町民に親しまれる議会だよりの編集に生かしていきたいです。

町議会こぼれ話③ 【会派と政党】 会派制度は導入していません。政党は無所属14人、共産党1人、公明党1人です。